



清 流

発行 〒861-4696 熊本県上益城郡甲佐町大字岩下194 甲佐町議会 ☎(096) 234-1111 編集 議会広報編集特別委員会

なかよし福祉大運動会は多くの福祉団体の参加で開催、ユーモアあふれる踊りや、ハプニング続きで大盛況の一日でした。



苦！ 苦しい！ 手を使いたいけど使えない
(なかよし福祉大運動会・パン食い競走風景)

9月定例議会

平成10年度決算 膨らむ経常経費・老人医療費 2～3P

一般質問 町長の政治姿勢・介護保険を問う 4～5P

これだけはきいておきたい Q&A 6～7P

傍聴席から一言 委員会研修報告 8P

を使いました！

委員会で継続審査

国民健康保険会計の基金が3千5百万円と減少、いよいよピンチとなった。本年度、国保会計は14億4千万円の予算で運営を行うが毎月の「医療費」や「老人保健会計への拠出金」の支払が1億程度を支出している。本年度は「国保税の値上げ」により切り抜けているが、益城町の2億4千万円や清和村の2億2千万円、また郡内で最も少ない嘉島町でも9千万円の基金と比べて著しく少なく、県内で最低クラスの基金額になっている。町において「突発的な病气」が発生した場合は対応が出来ない状況であり、今後は町の医療行政への積極的な対応が望まれる。

また、本町の庁舎建築基金は昭和60年に積立が開始され14年を経過した。現在の積立額は「5億8千万円」であるが、他町村の庁舎建築費が15億〜20億円を考えるとまだまだ少ない基金額であり、町では本格的な基金の財政計画が必要となって来た。

国保会計ピンチ！ 庁舎建築ほど遠い基金額

9月定例会は17日から21日までの5日間の会期で開かれ、町長より平成10年度各会計の決算の認定など13件と議会より請願・陳情・意見書など6件が提案され、10年度決算の認定については決算審査特別委員会の閉会中の継続審査とすることに決定し、その他はすべて原案どおり可決された。また、町長より助役・収入役の人事案件について追加提案され、議会は全員一致で同意した。

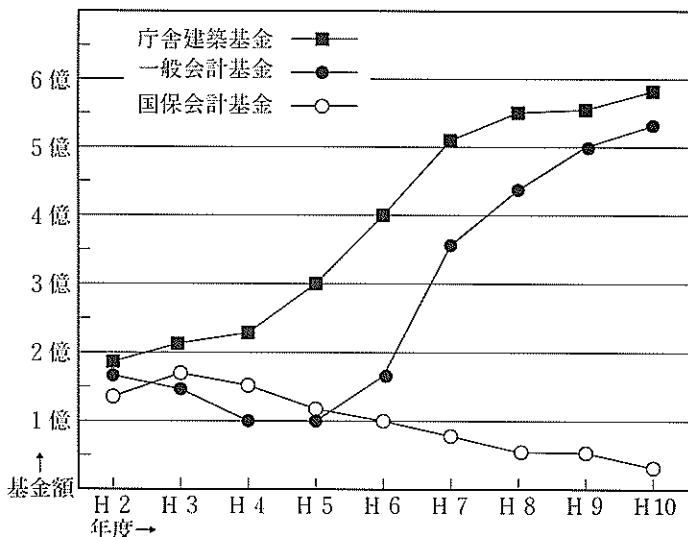
町の財政は大丈夫か？

行財政改革を急げ！

財政力指数と経常収支比率は地方自治体の財政力を示す数値として使われている。財政力指数は1に近いほど財政が豊かである。

財政力指数は上益城郡では益城町の0.490を筆頭に嘉島町、御船町の順で本町は0.297で平成9年度決算によれば県下町村の22位でかなり上位にあるが、経常収支比率は標準の75を大きく越えており県下町村で57位と決して良好な状況とは言えない。他町村では庁舎建設や町民体育館などの大型公設を計画する時期に来ており、本町は、今から大型施設を断行する必要があると思われる。

本町の基金の推移



本町の財政力指数・経常収支比率

年度	財政力指数	経常収支比率
2年	0.272	80.6
3年	0.263	78.5
4年	0.262	82.9
5年	0.266	83.4
6年	0.277	83.1
7年	0.285	82.9
8年	0.293	82.8
9年	0.296	83.2
10年	0.297	85.2

財政力指数 1に近いほど財政力が強いことを示します。経常収支比率 100%に近いほど経常経費の比率が多く、財政の硬直化が心配され、80%を超えると黄信号と言われています。

平成 10 年度決算 85億7408万円

決算審査特別

甲佐町会計別決算総括表

(単位 円)

会 計 別	歳 入	歳 出	差 し 引 き
一 般 会 計	5,261,489,915	4,952,348,164	309,141,751
国民健康保険特別会計	1,408,101,583	1,254,704,331	153,397,252
老人保健特別会計	2,350,059,950	2,318,031,033	32,028,917
有線放送特別会計	58,894,693	43,681,099	15,213,594
住宅新築資金等貸付特別会計	5,580,094	5,323,316	256,778
総 合 計	9,084,126,235	8,574,087,943	510,038,292

こう使いましたあなたの税

農林業に
45,864円

保健衛生に
53,807円

児童・福祉に
76,079円

消防活動に
17,975円

道路・住宅に
49,087円

商工・観光に
3,737円

借金返済に
43,678円

議会活動に
7,795円

教育のために
39,059円

「幸せ」感じましたか?
町民一人に39万円使いました
町税は一人6万2千円を負担

膨らむ経常経費・老人医療費
社会資本整備は
万全か!

甲佐町各会計決算額の推移

(単位 千円)

	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
一般会計決算額	3,803,710	4,018,546	4,395,811	4,642,603	4,401,159	4,278,408	4,743,147	5,429,319	4,952,348
国保会計決算額	971,960	938,094	1,071,565	1,126,848	1,182,983	1,245,237	1,284,467	1,206,560	1,254,704
老保会計決算額	1,222,887	1,339,690	1,437,494	1,546,508	1,755,198	1,950,806	2,096,274	2,311,511	2,318,031
有放会計決算額	25,906	34,933	31,505	132,161	190,045	45,110	33,908	39,188	43,681



「一般質問」と

答弁

第3回定例会の一般質問は9月20日に行い、2人の議員が登壇、町の施策をただした。

三期目の施策で庁舎建設は!
北畑常博議員

基金不足であり位置を検討中
町長

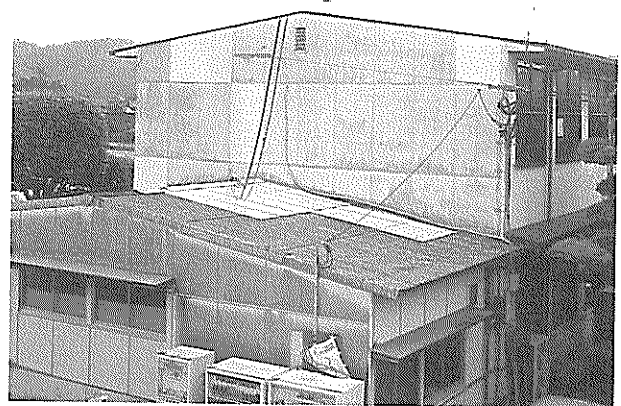
北畑議員
町長は三期目として、21世紀に向かってどのような施策を持っておられるか。

これからは超高齢化社会になり、私なりのビジョンとしては、一つは健康と福祉の町づくり、二つは自然環境を活かした町づくり、三つ目は子供が夢を持つ教育の町づくり、四つ目は小

将来におけた人口増は他町にアピールできる住宅政策を
町長

北畑議員
今後10年間にどのくらいの人口増を図るのか。当町は緑川をはじめとして資源が豊富である。これらアピールしながら町の人口増をするべきだ。また道路整備も大切で浜線からの道が四車線になる努力をしているのか。

町長
10年後の人口増はあまり



台風18号で被害を受けた役場本庁舎

魅力ある学校づくりを中高一貫教育の研究をしたい
町長

北畑議員
当町には昔、甲佐高女という素晴らしい学校があったが、人が集まるような魅力のある学校づくりを考えるべきではないか。例えば甲佐町は環境もいいし、土地も安いので全国から優秀な生徒を入れる為に、一貫教育というものを考えたらどうか。

町長
子供の数が減っている現状をみる時、見識はないが学校の一貫教育を検討しなくてはと思っています。

教育長
昨年まで全国で唯一、公立の一貫校として宮崎県の五ヶ瀬町に一ヶ所ある。過去に本会議会でも質問があり、今年の三月に県の方で協議がある時は甲佐町も候補に入れていただきたいと御願いしている。

学校教育課長
宮崎県の県南の五ヶ瀬町で森林文化都市構想が掲げられた。六年前から中高一貫校が発足され、県内あまねくから入っており、来年三月に最初の卒業生が40人居り進学、就職の状況を楽しみにしているとのことである。



甲佐高校

本町の介護保険 準備は万全か？

佐藤義郎議員

住民の意見が反映される

事業策定をしたい

町長

佐藤議員

介護保険が来年4月1日より実施されるが、その全体像と現在の状況はどうなっているか。

町長

今年10月1日より介護保険認定申請の受付が始めるが、それに伴って認定業務を行い認定審査会が開かれる。

本町においても事業計画の策定が進み、住民の意見を充分取り入れようということ、住民の代表を策定委員会の組織にはいつてもりたいと検討している。

佐藤議員

本町における一号保険者の保険料の予想、又、低所得者への減免措置はどうなるのか、さらに1割負担が困難という人にはどう対応するのか。

町長

策定委員会の中で保険料の試算を現在行っている

ところである。甲佐町の老人の人口推計して見ると平成16年度には3664人と

言う数字になり、介護保険の利用対象者は施設を利用する人が156人、在宅の

要援護者が40人、在宅要介護者が204人で400人が

利用すると見込んでいる。保険料については国からの

介護報酬がまだ決定しておらず、又県から介護保険適

用数が示されていないので

確かな策定はできないが概

略3000円前後になると

思う。又減免措置について

は、保険料賦課の時点で所得

状況により5段階に分けて

で行うことになっており、

本人が住民税非課税となり、

又、住民税で世帯非課税や

個人非課税などは低所得者

への配慮がなされているが、

条例での減免措置をするこ

とにより対応したい。

介護保険未加入者はどうなるのか？

佐藤議員

強制加入となっている

町長



10月1日より介護保険の認定申請が始まった

佐藤議員

介護保険に加入しないという人はどうなるのか。

町長

精神病患者以外の人には強制加入となっていて、満40歳になれば、第2号被保険者、65歳になれば第1号保険者として加入対象となる。

ホームヘルパーを 審査会に入れては？

佐藤議員

町長

佐藤議員

介護についてよくその実態を知っているホームヘルパーを認定審査会に入れる必要はないのか。

町長

認定審査は広域連合で行うことになっており、公平な審査ができるように、保健、医療、福祉の専門員で構成することになっている。

町独自の介護サービスは

佐藤議員

福祉政策の中で検討する

町長

佐藤議員

介護保険申請では、何割ぐらいが認定からはずれる予想か。

町長

3割ぐらいが外れると思われるが、生活を支援する立場から福祉政策の中で具体的な検討をしている。

佐藤議員

町自体として、介護保険の事業をやるのか？ それとも民間の業者に全部委託するのか。

町長

町自体で介護サービスに参入する事については現在対応を検討している。

ダイオキシン対策は どう対応するか

佐藤議員

焼却施設を改善したい

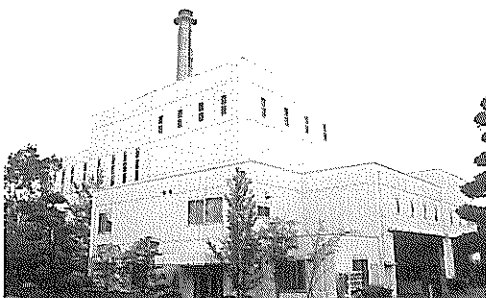
町長

佐藤議員

焼却場クリーンセンターより排出されるダイオキシンの量が、熊本県で上位であると調査結果が出ている。その対応策は。

町長

国の平成14年の基準にもって行くには、今の焼却炉では不可能であるので、現在の施設を改善する計画である。



11億円の費用でダイオキシン対策の施設改修を計画中のクリーンセンター

これだけは まいておきたい

今期提案された条例4件および各会計
予算案について審議がなされ以下審議の
論点を要約してお知らせします。

論 点

条例・予算審議より

Q & A

ふれあい町づくり 事業で福祉ネット ワークを活性化

Q 1

ふれあいまちづくり事業
の事業内容を知りたい。

A 1

この事業は、市町村の社
会福祉協議会が実施主体と
なって地域住民の参加と福
祉施設等の関係機関が連携
して地域に即した具体的な
課題に対応すると共に住民
相互の助け合いや交流の輪
を広げて共に支え合うのを
目的に、3年間の実績によ
り実績が上がれば5年間に
わたり事業を実施する。

中央公民館の 補修を急げ

Q 2

今回公民館費に20万円の
予算補正を提案されている。

中央公民館は、以前から
水道の漏水や、最近では外
壁が崩れ落ちる事例もあり、
シート張り等で応急処置は
とられたものの、現場付近
は、子供の遊び場でもあり、
大変危険である。早急に修
理ができないのか？

A 2

現在シート張りをしてい
る部分は、窓枠部分が夜間
に落下したものであり、総
務課の方と予備費なりの早
急な予算措置の対応を考え
ている。

普通交付税は 対前年比1.2% の伸び!!

Q 3

平成11年度の地方交付税
の算定を終え調定予定額も
把握していると思う。本年
度の状況はどうか？

A 3

先般、国からの普通交付
税の決定額が示され20億2
745万3000円で昨年
度に比較して1.2%の伸びと
なっている。

国道443号の 歩道整備を

Q 4

J A上益城甲佐給油所か
ら中央公民館に向けての歩
道は、変則で歩行者にとつ
ては左右の横断を伴う。現
在、日和瀬橋のバイパス工
事に予算がつき、設計もさ
れていると思うが関連工事
として歩道の一直線化が、
できないものか。

A 4

熊日新聞販売店前の歩道
箇所の凹凸については町に
改善を申し入れている。今
年の7月には、土木事務所
の維持課長も現地調査をさ
れ、その際、実情を申し上
げた。
歩道の一本化については、
日和瀬バイパスとは、事業
が異なるため同事業の中で
取り組めるかどうかは今後、
矢部土木と十分なる協議を
進めていきたい。



デコボコな歩道になっている国道443号(岩下二区)

介護保険事業電算 システムに県から町に 200万円を補助!

Q 5

介護保険事業電算システ
ム開発事業費に県から20
0万円の補助金が計上され
ているがどういう性質のも
のか。

A 5

来年4月から介護保険が
スタートするが40歳から64
歳までの方に対する保険料
の賦課徴収にかかる電算の
開発事業費に対し県から2
00万円が補助されるもの
である。

家族の介護に報酬は適用されないか

Q 6

地域の条件によっては自分の家族の介護について報酬を認めるといふ厚生省の見解があるが本町では、どういった取扱になるのか。

A 6

報道されていた介護保険のヘルパーについては、離島や山間地域等において認める方向である。本町では、

地理的にもそのような条件下でなく該当しないと思われる。

漏水処置は完了したのか

Q 7

上豊内地区には、水道タンクが配置されているが昨年の秋から排水路の水量が増えたと聞いている。上水道の漏水が原因ではないのか。

A 7

送水管、排水管については、5箇所程度修理を完了している。配水地にも潜水夫に内部調査をさせたが異常はなかった。いまだ漏水が続いていれば再度、専門家による調査を実施したい。

免の山開発の構想はあるか

Q 8

今回、豊内地区の住民の方より「免の山開発」について陳情書ができてきているが、それによると地域住民が安心して生活できる環境の整備と土地の有効利用等を図る趣旨により提出されたものと思う。町長におかれても、理解を示していたきたい。

A 8

陳情の趣旨については、災害に対する不安の解消、環境の整備、土地の有効利用ということの陳情がなされている。以前から大変問題の箇所であり、災害対策については、急いで検討し地元の方とじっくり話し合いながら構想を練っていき

たい。

Q 9

免の山開発については、一般質問の中でもとりあげられ4年間ほど経過しているが、その間の事務処理について聞きたい。

A 9

まず航空写真を利用し地域のエリアの設定、および面積、所有者の調査、その他、埋蔵文化財の手続きの確認や農地法、防災上の手続き等綿密な検討材料がある。現在までは航空写真を利用し、地権者の調査間で行った段階である。



漏水調査が実施された上水道 上豊内配水タンク

ざんじ休憩



ペットボトル再利用で「粋な夏服」

ある町の職員がペットボトルを再利用した繊維のポロシャツを「夏服」に採用して仕事を始めた。

「リサイクル社会の先端を行く粋な衣替え」と町民の話題になった。

今年4月から、町内全域でビン類、缶、ペットボトルなど資源ゴミの分別収集が始まった。町職員の間から「回収だけでなく、この機会に再利用まで始めよう」と話し合い、ペットボトル再生シャツ採用を決めた。もちろんノーネクタイ。日本の高温多湿の夏にはぴったりで、統一された服装は窓口を訪れる町民からも好評であったらしい。

本町でも職員の皆さんが統一した制服を着用していたら、町民はどんなにすがすがしさを感じるだろう。

人事

助役に宮本氏 収入役に酒井氏

9月定例会に町長より今まで空席になっていた助役・収入役の人事案件が提案された。議会では提案どおり全員一致で助役に前上益城町村会事務局長の宮本格氏（芝原61歳）・収入役に前町代表監査委員の酒井信男氏（下横田70歳）を選任同意した。



台風18号で崖崩れが発生した免の山（下豊内）

傍聴席から一言

「会話」



甲斐 良二 (岩下二区)

私は日常生活の中で少しでも多くの人と会話をしたい。また、しなければいけないと思いつながら生活を送っています。

その理由は会話によって得る事の中に非常に大切な事があると思うからです。しかし私はスムーズに会話のできる時あれば相手によってなかなか出来ない時もあります。「始めに礼ありき」とあるように、やはり会話の始まりは「礼」すなわち挨拶にあると思います。会話は挨拶から始まってゆくうちに、段々と相手の事(気持ちなど)を理解できる様になり友情や愛情という相手を思いやる心が芽生えてくると思います。そうでない場合も時にはあるでしょうが、私は会話をする事はそういう意味で大切だと思うのです。

私達は大人なり小なり「人の輪」に属していると思います。その中で少しでも会話をしてゆかなければいけないと思います。議会運営についてもその事が言えると思います。議員さん達は議会の内でも外でもお互いのコミュニケーションをはかり時には対立しながら、また時には調和のとれた議会というものを望んでいます。

7月7日、議会運営委員会は阿蘇郡一の宮町の議会運営状況と町民の健康・体力づくりの施設であるアゼリア21を視察した。阿蘇郡一の宮町議会は平成9年度の一定例会の一般質問者は平均13人と本町議会の平均4〜5人と比べて非常に多く、一般質問に対する関連質問も認められており、一般質問の時間は質問と答弁を合わせて本町の60分に対して一の宮町は20分と短く、複数の質問者が同じ質問を通告した場合に限り関連質問が認められていました。アゼリア21は年中泳げる50m公認プールとウォータースライダー・子供プール・サウナ・うたせ湯など温泉浴場を兼ね備えた、健康・体力づくりを行いながら、町の過疎化へ歯止めをかけ、町外からの人・物・情報を集約し、物産館を併設して地域経済の波及を求めた新しいタイプのスポーツ、レクリエーション、観光施設として注目を集めていました。

議会運営委員会

一の宮町の議会運営を視察

委員会研修報告

経済建設常任委員会

佐賀県脊振村 一坪百円で宅地分譲

7月30日、経済建設常任委員会は一坪百円で宅地分譲を行っている佐賀県脊振村を視察研修した。

脊振村は山林が76%も占め、過疎化への進行が激しく現在の人口は1900人に半減している。過疎化への歯止めと若者の移住を夢見て、平成9年度に村の造成地19区画を「一坪百円・15年の賃貸契約」で町内外に募集したら全国から522件の申し込みがあり大盛況であった。10年度に追加15区画を募集したところ125件の申し込みがあり村の人口増対策は大成功であった。

本町では人口増対策も進まず人口は伸び悩んでいるが、この脊振村を「ヒント」にして町当局・議会・住民も一緒になって考える必要があると思われる。



年代層に応じた水泳教室が開催されている一の宮町アゼリア21の公認プール

編集後記

プロ野球セ・パ両リーグの熱い戦いは、ともに新人投手上原、松坂の活躍で終りを告げ、いよいよ日本シリーズへと突入した。「アンチ巨人」と称する巨人ファンがいる、嫌いなものは、見るも聞くもイヤなはずの巨人なのに、勝つても負けてもテレビを観戦し、新聞のスポーツ欄は見逃すことなく「超人ファン」であることを証明している。来年も長嶋監督の続投と報道されている。21世紀の幕開けとなる来年こそ優勝を！

9月定例議会で、今まで空席であった助役、収入役が選任同意され、今の町長、教育長に加えて久しぶりに町のトップ四役が揃った。町政の後は許されないう、町政発展のため積極的な施策を町当局に期待したい。

